

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |              |
|-------|--------------|
| 施設番号  | 66-1482      |
| 施設名   | 大宮保育園        |
| 施設所在地 | 杉並区大宮2-16-16 |
| 法人名   | 社会福祉法人けいわ会   |

## 1. 活動のテーマ

### <テーマ>

身近な葉っぱを見てみよう

### <テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
近隣に緑豊かな公園や緑地があるので葉によって違いがすることに気づいていく。

## 2. 活動スケジュール

### (3歳児クラス)

- ・公園に行きキッズルーペ渡し、それぞれ興味のあるものを観察する。
- ・保育者と一緒に木の実を見つけて、色や質感を共有する。
- ・保育園に持ち帰り調べようとする。

### (5歳児クラス)

- ・図鑑を実際に持っていき調べてみたり、スケッチを試みる。
- ・スケッチを掲示して気づいたことを共有する。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

### (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

キッズルーペを園外や園庭に遊びに行くときに使えるように事務所に用意した。  
保育室でも調べられるように葉や、花が詳しく載っている図鑑を用意した。  
気になった植物や虫を写真で残せるよう、インスタントカメラを用意した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

公園へ赴き、木の実や葉をキッズルーペで拡大して見る。

葉の葉脈や、木の実質感等を一緒に共感していく。

スケッチをしてみんなで情報を共有する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

3歳児クラスは公園で木の実を見つけキッズルーペで見たり、「これ何の実？」と聞いてくる姿があったので、保育園に図鑑があることを伝え、帰園した調べるように声を掛けた。そこからこの実はどこから来たのか？という話になり、「誰かが持ってきた」「風が吹いて転がってきた」などの話があがった。一人の子が上にも赤い実がついてることに気づき、それを伝えと「ほんとだ！」と見つけた嬉しさを共感する姿が見られた。

5歳児クラスは実際に図鑑をもっていき調べることで似ている葉や、葉脈、大きさ等調べると「同じみたいけど、ちょっとちがうかも」「形が同じだけど、色が違うから、違う葉っぱなのかな」等話している姿が見られた。スケッチをしている子はじっと観察をしながら集中して描く姿が見られた。スケッチを保育室前に掲示すると、送迎時に保護者に「○○ちゃんと一緒に描いたよ。とげとげだった。」と会話する様子があった。その後は鳥類にも興味を持ち図鑑を持ち出して調べていた。



活動の様子が分かる写真。2枚以上を貼付してください。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

(3歳児クラス)

・ルーペは現地に持っていったので最後は木の実を集める器になってしまった。保育園に戻ってもその赤い実に興味が無くなってしまったので、保育園で調べられた方が子どもたちの活動にも連続性が見られたのではないかなと思う。

・「木の実がどこからきたのか」という発想はとても興味深かった。見上げればあることを伝えてしまっていたら、子どもたちの意見を遮ることになるところだったが、意見を聞くことで子ども達同士での話も盛り上がっていたように思う。発見と一緒に喜ぶ姿から、自分も探そうとする姿もあり、協働性を感じる一場面もあった。

子どもは目線よりも上は気づきにくいことにも気づく事ができた。

(5歳児クラス)

・ルーペの活用はなかったが図鑑の活用の仕方などは使い方を伝えてはいなかったが、探す事を楽しんでいるように感じた。

・スケッチまで発展するとは考えていなかったのも、紙や鉛筆・ペン等は自分たちで考え準備をしていたので、子どもの気持ち、考えを汲み取る大事さを改めて感じた。

・掲示し共有することで、保護者との会話や、子どもたちの話がより盛んになる機会となった。